

群馬地名だより

群馬地名研究会 会報

六文棒の地名について

井野修二

はじめに

とがあった。

前橋市駒形町の東、伊勢崎市との境、前橋駒形郵便局の近くに「六文棒」という名前のバス停があった。この名前が珍しくて、時々話題になることがあった。

内容である。

一、「六文棒」

地名の所在地

行政地名としての大字、

小字ではない。

『明治拾四年

地理雑件

小字名調書』

(群馬県立文

書館蔵)の「駒

形新田」には

「六文棒」は

記載されてい

ない。その後

も行政地名に

はなっていない



「酒井家史料」では、元禄三年(一六九〇)三月、

享保十五年(一七三〇)沼田城受取のため御

領していたようである。

酒井忠挙が帰城した時の

江戸時代、前橋城下から江戸への往復に五料を通っていたことは、「酒井家史料」や「松平家日記」でわかる。酒井氏が前橋城主時代から江戸道とさ

二泊三日を要し、深谷泊の次に稲荷山休とある。稲荷山は現伊勢崎市稲荷町、旧那波郡宮郷村今で、中沢家が本陣を称してい

た。酒井忠挙が帰城した時の順路は次のようである。

三月十三日卯後刻、江戸出立、蔵休、上尾泊、三月十四日、鴻巣休、深谷泊、三月十五日、稲荷山休、未刻前橋着